

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：園芸特産物対策費

### 事業名 花き生産振興推進指導費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 花き係 電話番号：058-272-1111 (内4113)

E-mail：c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,228 千円 (前年度予算額： 2,228 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,228	0	0	0	0	0	0	0	2,228
要求額	2,228	0	0	0	0	0	0	0	2,228
決定額									

#### 2 要 求 内 容

##### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

花きに関する情報収集と、それを活かした施策の立案、展開による生産振興を推進する。

##### (2) 事業内容

ア. 花き生産振興指導事業 (1,778千円)

・花きに関する情報収集と、それを活かした施策の立案、展開による生産振興を推進する。

・国際園芸アカデミーに関する業務や高校生花いけバトル全国大会に係る業務などにも対応する。

イ. 関東東海花の展覧会事業 (450千円)

・関東東海の1都11県主催の「花の展覧会」に参画

### (3) 県負担・補助率の考え方

花きに関する情報収集と、それを活かした施策の立案、展開は県産花きの生産振興を図るうえで非常に重要であり、県負担が妥当である。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	569	会議出席、調査旅費等
需用費	525	事務消耗品、印刷製本
役務費	389	通信運搬費、賞状筆耕料
使用料	145	複合機等使用料
負担金	600	関東東海花の展覧会等負担金
合計	2,228	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 国・他県の状況

平成26年6月20日、花き産業及び花き文化の振興を図り、もって花き産業の健全な発展及び心豊かな国民生活の実現に寄与するため、「花きの振興に関する法律」が成立した。

(主な内容)

- ・農林水産大臣は、花き産業及び花き文化の振興に関する基本指針を策定
- ・都道府県は、花き産業及び花き文化の振興に関する計画を策定
- ・花き産業に関する施策
- ・花き文化に関する施策

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・花きに関する情報を収集し、それを活かした施策立案と実施により生産振興と生産者の経営の安定を図るとともに販路拡大に取り組み、現在の花き生産額を維持し、安定した推移を目指す。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H25)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
						達成率
① 花き産出額	70億	48億	64億	66億	70億	69%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当初予定していた展示会や花き生産者団体が主催する各種検討会が中止となったが、花き生産者の状況を把握し、生産・流通・販売の各過程で助言指導することで、県産花き振興の取組を推進した。</p> <p>指標① 目標：70億 実績：47億 達成率：67%</p>
令和 3 年度	<p>・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、当初予定していた展示会や花き生産者団体が主催する各種検討会が中止となったが、花き生産者の状況を把握し、生産・流通・販売の各過程で助言指導することで、県産花き振興の取組を推進した。</p> <p>指標① 目標：70億 実績：48億 達成率：69%</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 2	・花き業界が官・学・民が一体となった支援を求めており、引き続き情報収集し、それを活かした施策立案と実施により生産を振興する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価) 1	・新型コロナウイルスの影響を受けた花き生産者の状況を把握し、生産・流通・販売の各過程で助言指導することで、県産花き振興の取組を推進した。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価) 2	・実施内容を精査し効率化を図るとともに、より効果が上がるよう努める。

### (今後の課題)

・事業をより効果的に進めていくためには、関係機関・団体が連携し一体となった取組を展開していかなければならない

### (次年度の方向性)

・以前より花き消費が低迷し生産者の経営環境は厳しい状況となっている中、新型コロナウイルス感染症拡大により取引率の悪化等の影響を受けているため、引き続き、生産振興及び販路拡大を促進する。